

岩手県感染症週報

平成17年第33週（8月15日～8月21日）

岩手県結核 感染症情報センター

第33週の概要

1 類感染症

2 類感染症

・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

・腸管出血性大腸菌感染症は、盛岡地区の2カ所の保育所で複数の患者が発生するなど、この週には9例の患者発生の報告がありました。保育所の感染例は、大腸菌O157とO26によるものです。この時期、下痢や血便などの症状があるときは、速やかに医療機関を受診し、治療を受けることが大切です。

5 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・ヘルパンギーナは、前週まで患者数の多かった久慈、二戸地区がこの週には減少に転じており、流行のピークを越えたものとみられます。
- ・流行性角結膜炎は、盛岡地区で患者数が増加し、定点あたり患者数が7.3人と同地区では過去5年間で最大の患者数となりました。
- ・流行性耳下腺炎は、釜石、久慈地区で患者が増加しています。久慈地区では定点あたり患者数が警報値（同患者数5.0人）を超えています。

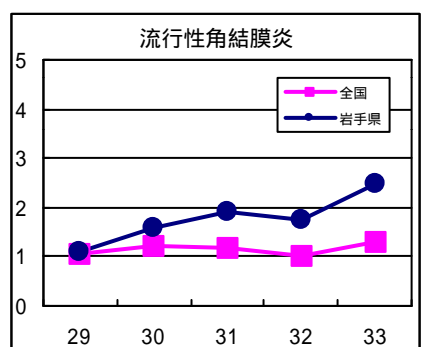
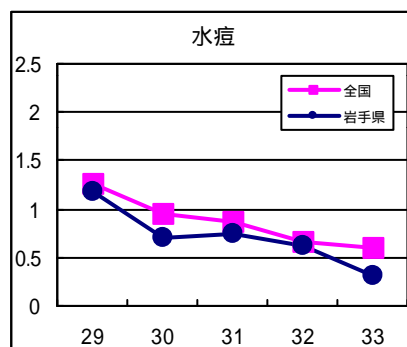
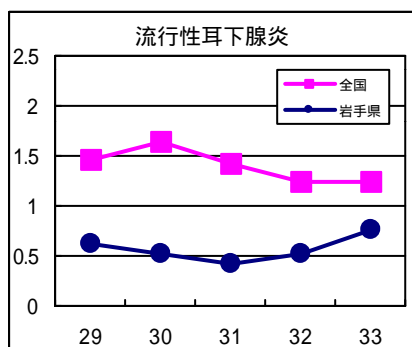
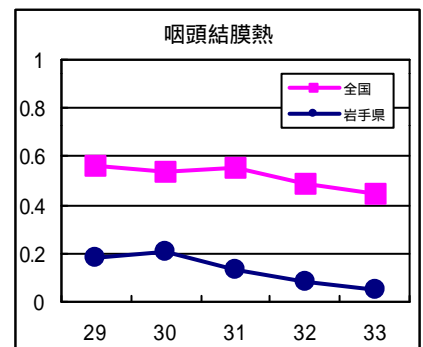
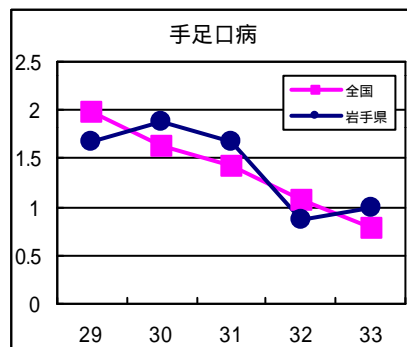
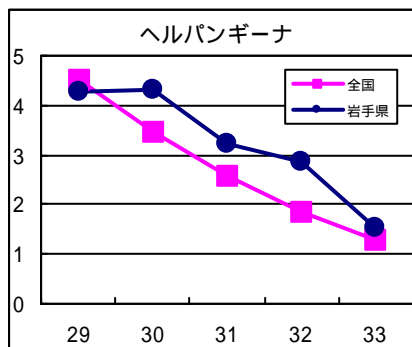
4 類感染症

5 類感染症（全数把握対象疾患）

・患者発生の報告はありませんでした。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		29	30	31	32	33		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.17	0.12	0.07	0.05	0.03		
咽頭結膜熱	岩手県	0.18	0.21	0.13	0.08	0.05	→	
	全国	0.56	0.54	0.55	0.49	0.45		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.32	0.16	0.24	0.13	0.21	→	
	全国	0.74	0.68	0.57	0.45	0.36		
感染性胃腸炎	岩手県	1.87	2.03	1.47	1.5	1.74	→	
	全国	2.52	2.47	2.36	2.11	1.98		
水痘	岩手県	1.18	0.71	0.74	0.61	0.32	↘	
	全国	1.26	0.96	0.86	0.66	0.59		
手足口病	岩手県	1.68	1.89	1.68	0.87	1	→	
	全国	1.98	1.63	1.43	1.07	0.79		
伝染性紅斑	岩手県	0.18	0.34	0.11	0.11	0.11	→	
	全国	0.32	0.29	0.27	0.18	0.17		
突発性発疹	岩手県	0.45	0.55	0.53	0.5	0.79	→	
	全国	0.71	0.77	0.79	0.69	0.66		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0	0.01	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	4.26	4.32	3.24	2.87	1.55	↘	
	全国	4.51	3.46	2.6	1.87	1.28		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.01	0.01	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.61	0.53	0.42	0.53	0.76	↗	
	全国	1.46	1.64	1.43	1.23	1.25		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.04	0.03	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1.08	1.58	1.92	1.75	2.5	↗	
	全国	1.06	1.2	1.19	1	1.3		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	30	47	36				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.06	0.07	0.06	0.07	0.06		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.15	0.1	0.2	0	0.1	→	
	全国	0.3	0.23	0.19	0.23	0.25		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0.05	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0	0.01	0.01		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印：ほとんど患者が発生していません
→：患者が発生しています
↗：警報値を超えた地区が1～2地区あります
↘：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）								（患者発生数）	
分類	疾病名	（週） 岩手県						全国	
		29	30	31	32	33	累計	33	累計
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	31
	細菌性赤痢	0	1	0	0	0	1	7	350
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	32
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	10
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	5	6	4	9	38	165	2000
四、五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	10	441
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	12
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	1	0	0	0	0	1	0	26
	回歸熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	1	0	0	0	2	2	185
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	8
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	3	4	90
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	38
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	2	11	736
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	45
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	8
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	4	0	104
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	27
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	29
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	1	9	335
	破傷風	0	0	0	0	0	1	1	61
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	48
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	1
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	1	44
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	5
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	5	139
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0
<p>昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。</p> <p>できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。</p>									

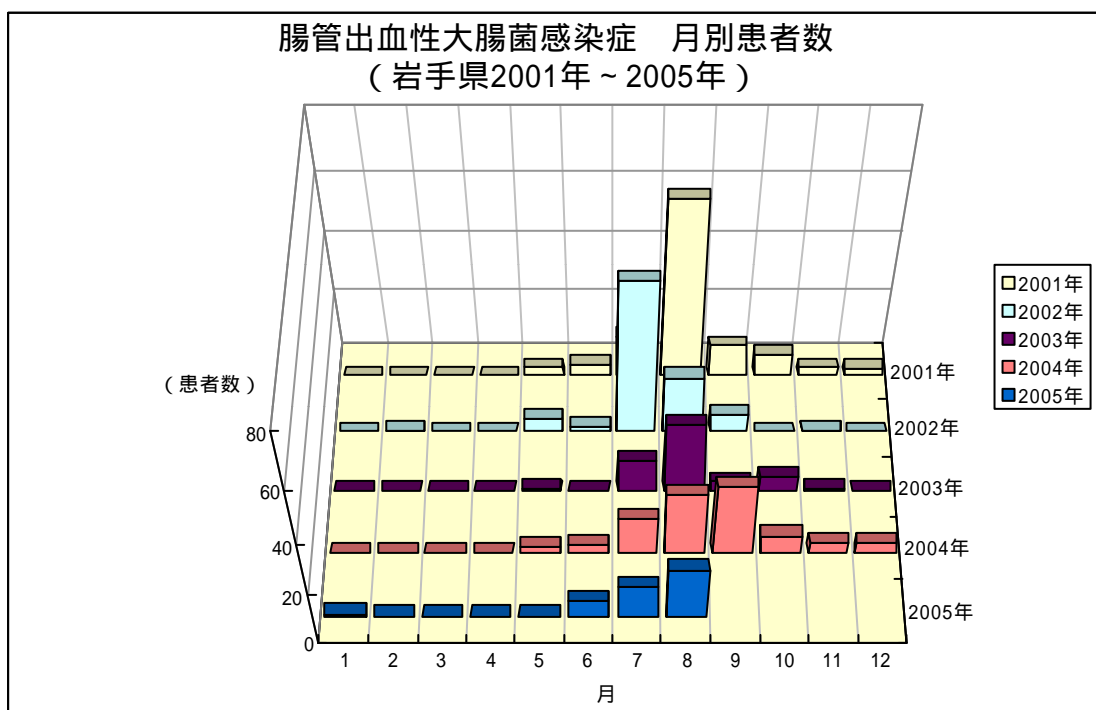
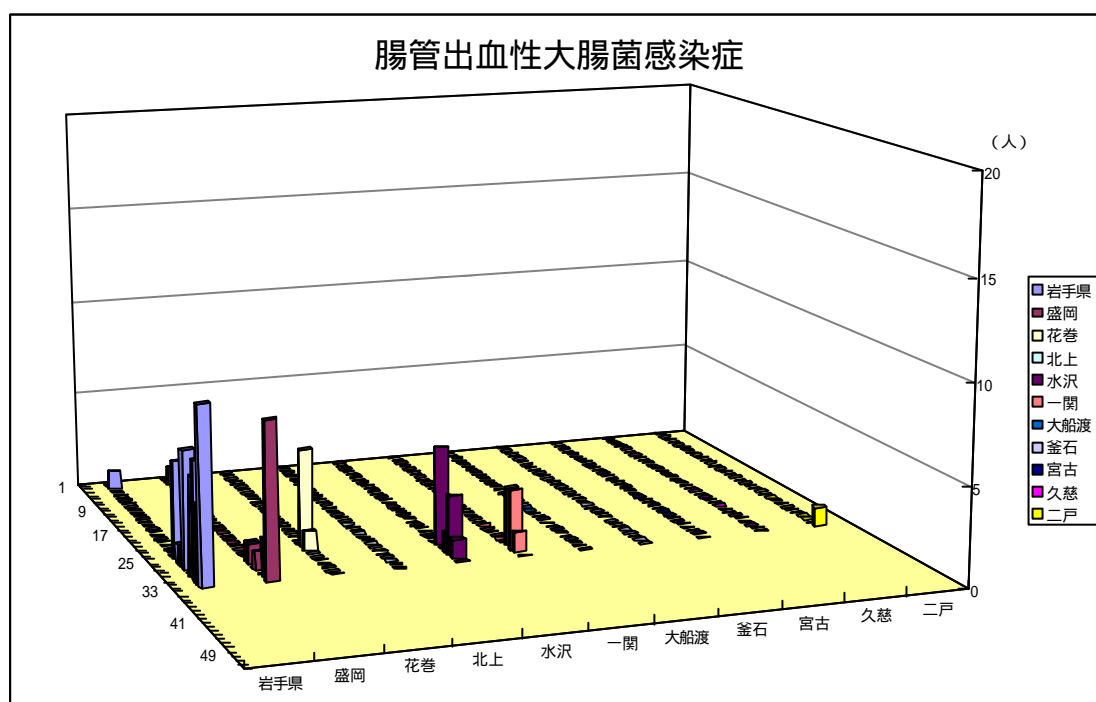
今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、33週（8/14～21）までに38例の患者発生がありました。例年夏季に患者数が多く、保育所や幼稚園などで集団感染を引き起こします。

潜伏期間は2～7日間と比較的長く、腹痛、下痢、血便などの症状を呈し発熱を伴うこともあります。しばしば溶血性尿毒症症候群（HUS）を併発し、死に至ることもあります。

感染力は非常に強く、食品を介した感染だけでなく、ヒトからヒトへの接触感染例も多く報告されています。食材はよく洗い十分に加熱する。食肉を扱った容器、包丁、まな板は熱湯などで消毒することが大切です。



病原体検出情報

- ・この週に検出した病原体はありません。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

腸管出血性大腸菌（0157）感染症の発生について

- 1 施設等
盛岡保健所管内の保育所（職員15名、園児51名）
- 2 患者の状況
 - ・8月19日（金）に管内の医療機関から園児1名（2歳）の腸管出血性大腸菌感染症の発生届出
 - ・盛岡保健所が8月19日（金）に患者家族、20日（土）に園児及び職員の検便を実施
 - ・8月21日（日）に新たに患者家族2名（うち1名は園児）の保菌を確認、8月22日（月）園児1名の感染を確認

腸管出血性大腸菌（026）感染症の発生について

- 1 施設等
盛岡保健所管内の保育所（職員18名、園児71名）
- 2 患者の状況
 - ・8月17日（水）に管内の医療機関から園児1名（1歳）の腸管出血性大腸菌感染症の発生届出
 - ・盛岡保健所が8月18日（木）に患者家族の検便を実施したところ、8月20日（土）に新たに患者家族1名（同園児、3歳）の感染を確認
 - ・管内の医療機関から8月23日（火）に園児1名（1歳）、8月24日（水）に園児1名（4歳）の腸管出血性大腸菌感染症の発生届出
 - ・8月24日（水）に盛岡保健所が全園児及び職員の検便を実施、8月26日（金）に新たに13名の園児の感染及び保菌を確認（いずれも軽症または無症状）

盛岡保健所の対応

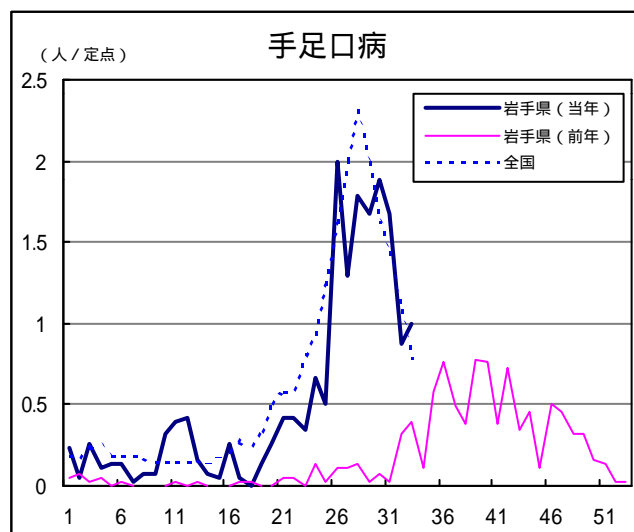
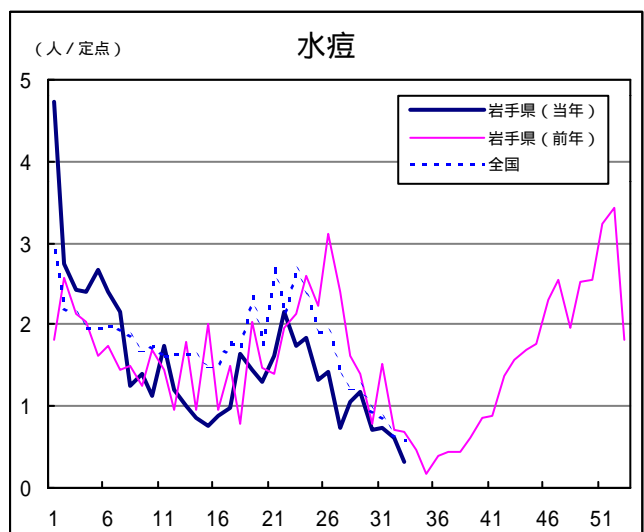
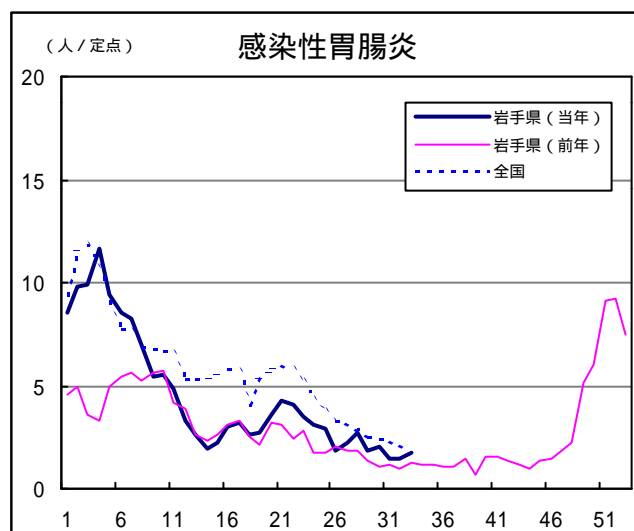
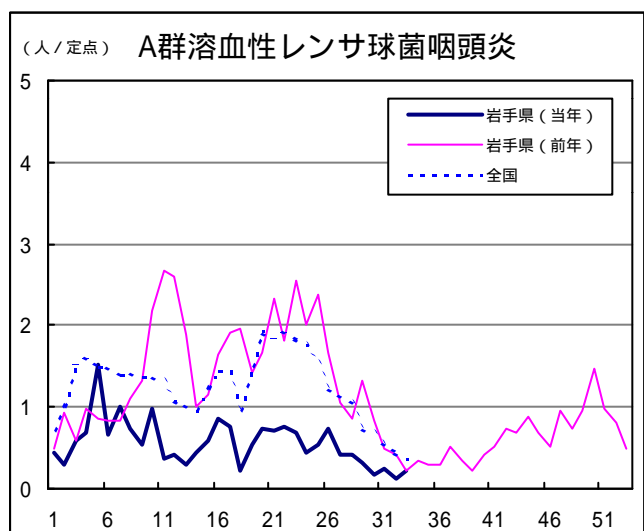
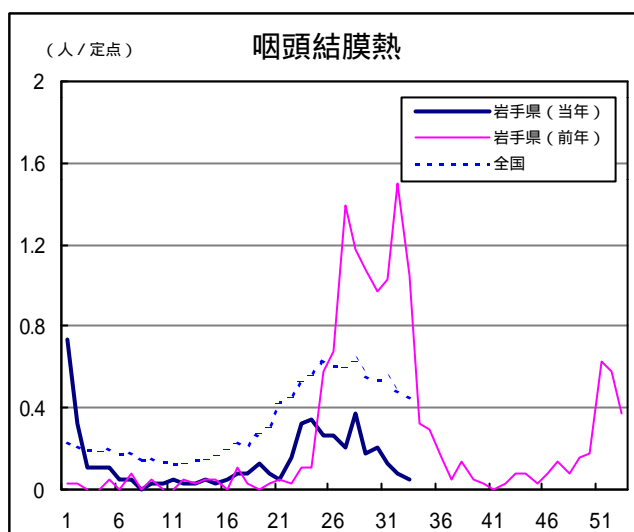
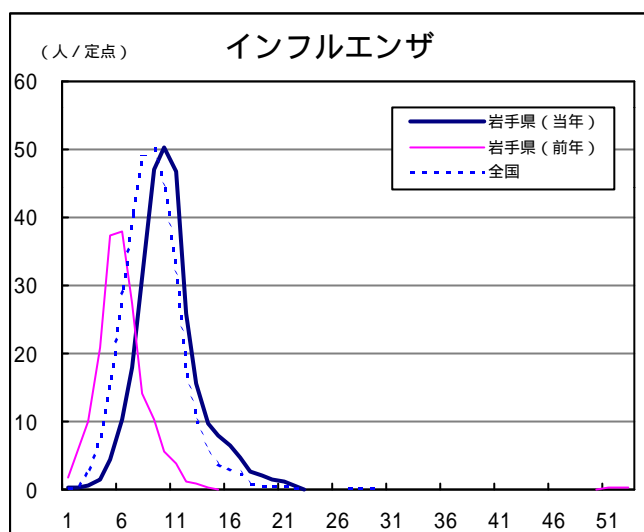
盛岡保健所では、いずれの保育所及び患者家族等に対し、消毒方法等を指導するとともに、更なる感染者の有無、感染経路の調査を継続実施中である。

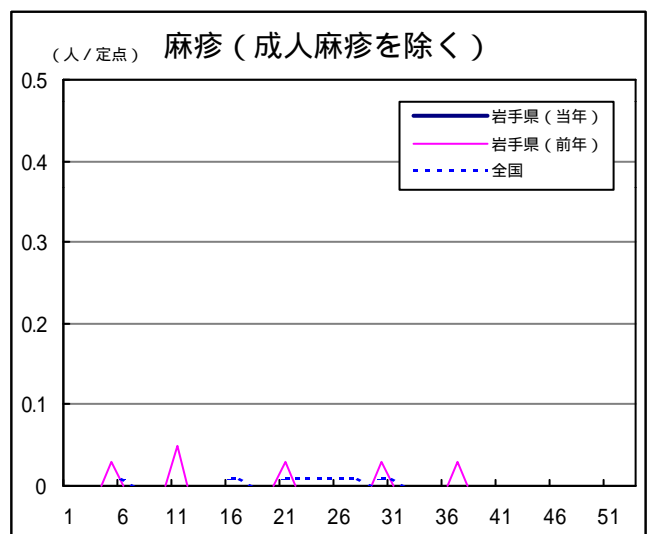
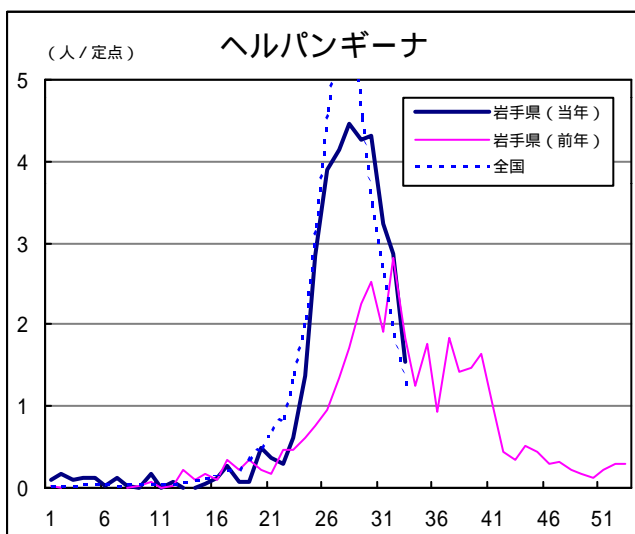
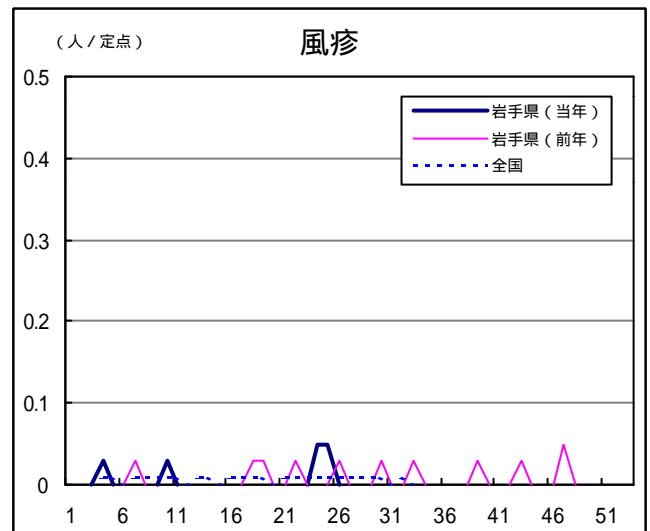
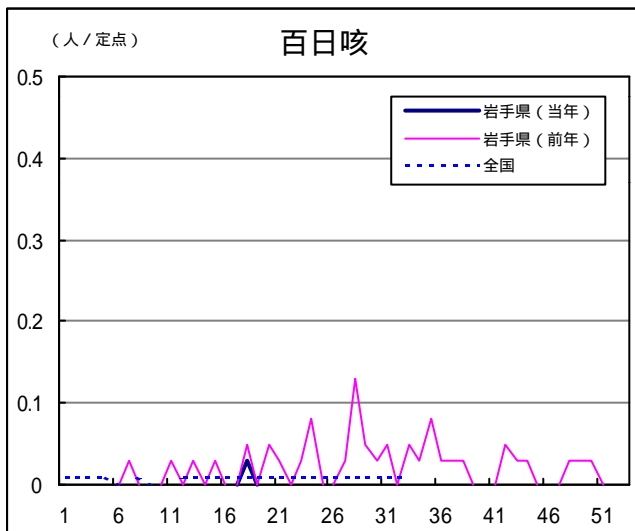
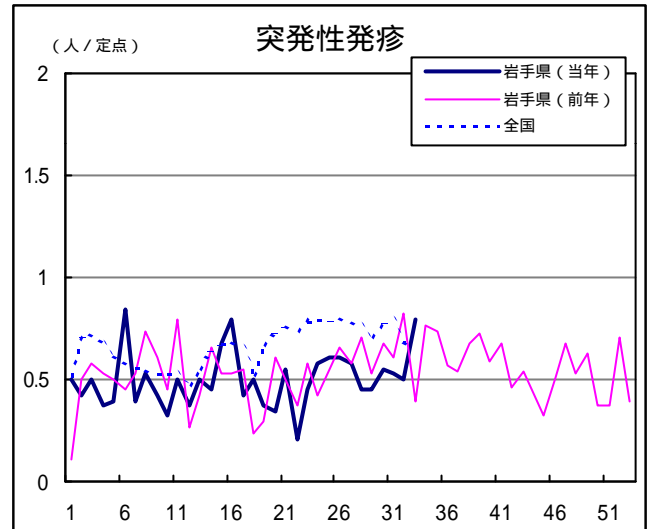
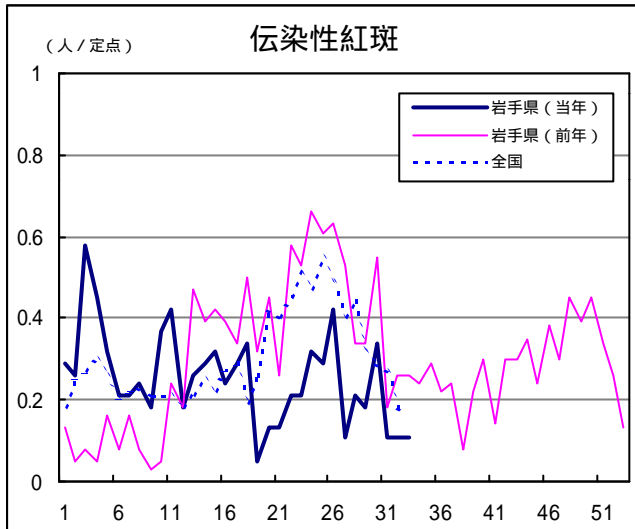
Q & A

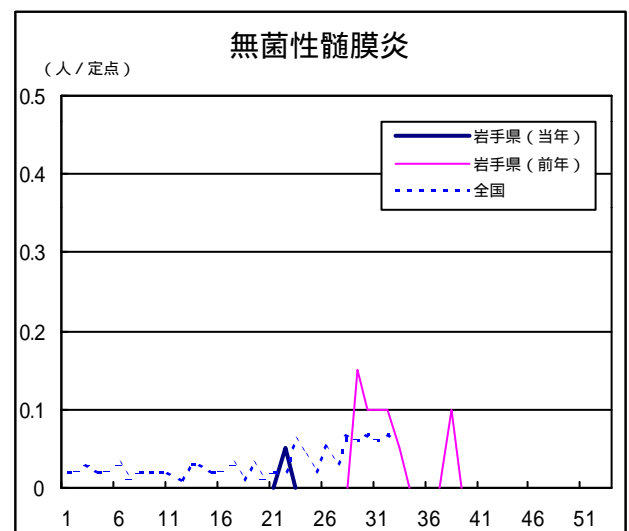
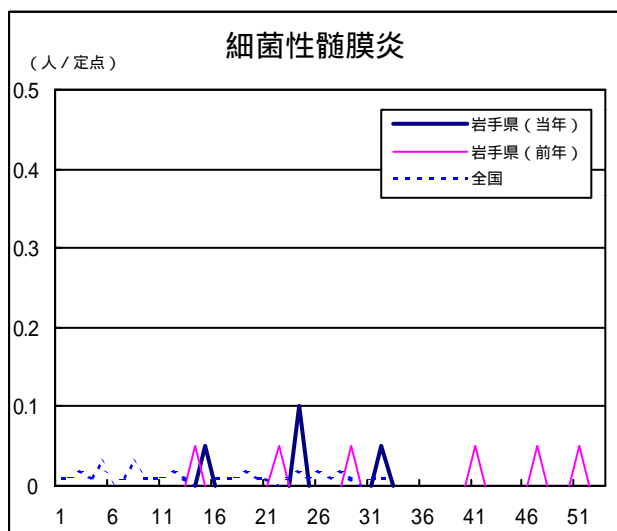
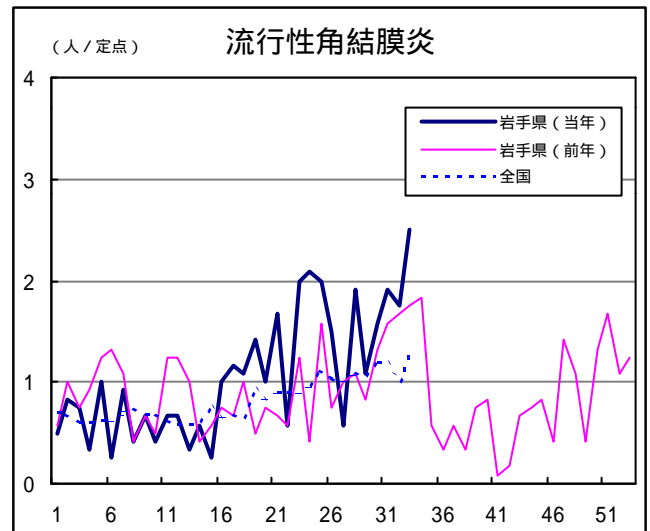
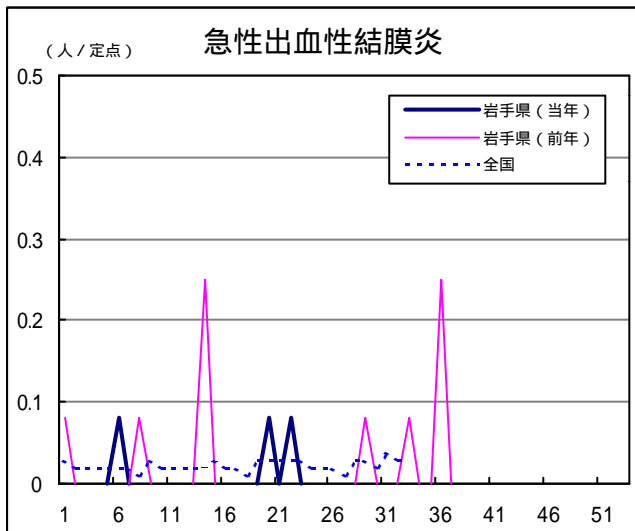
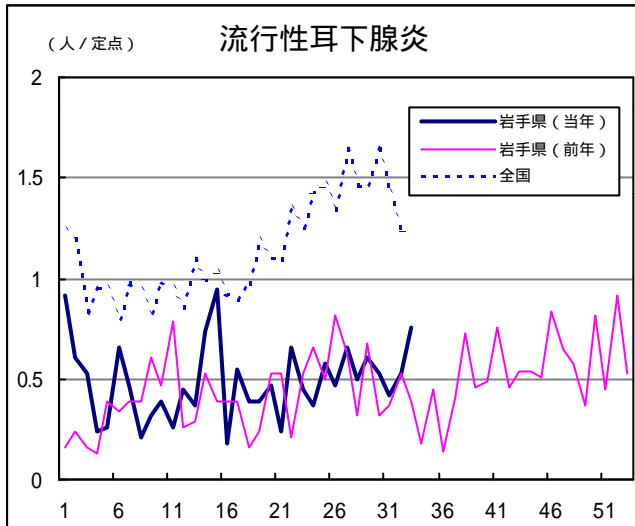
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

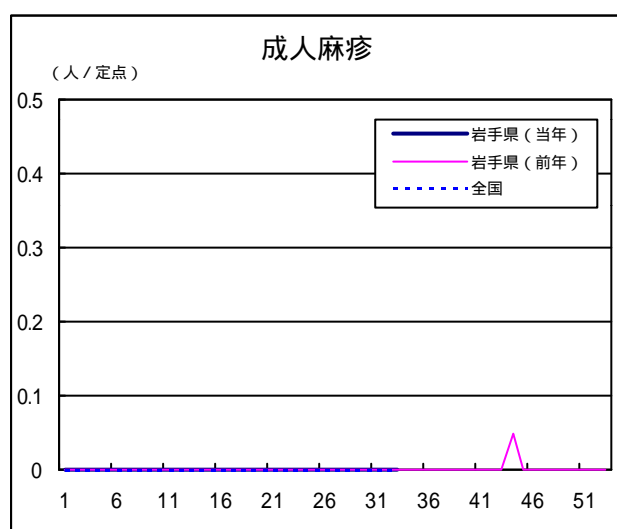
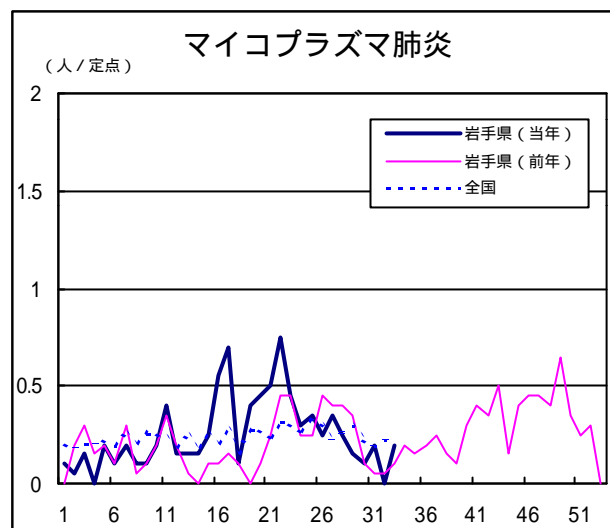
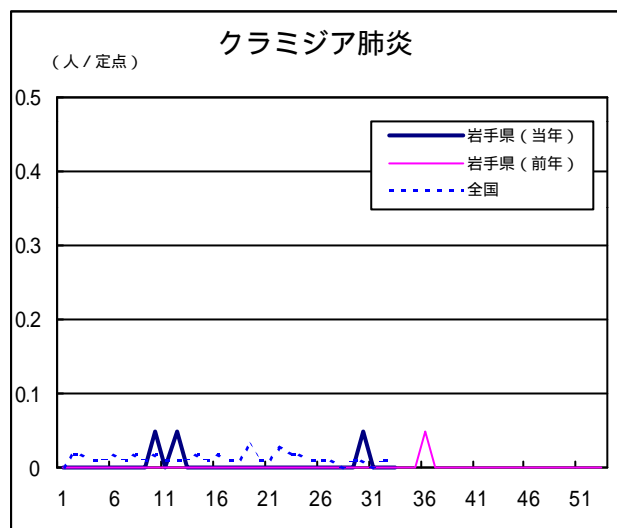
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「**岩手県感染症情報ウィークリーマガジン**」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

無料です!!

岩手県感染症週報 平成17年第33週 平成17年8月26日発行

監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail：CC0019@pref.iwate.jp

URL：http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/

<岩手県結核・感染症情報センター>

http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/

<岩手県保健福祉部保健衛生課>